

日本アートマネジメント学会 研究会 (2023年6月開催)

「共生社会とアートマネジメント」

主催：日本アートマネジメント学会

【ゲスト】

≪兵庫県立ピッコロ劇団員≫



本田千恵子さん



菅原ゆうきさん

【研究会の内容】

兵庫県立尼崎青少年創造劇場（ピッコロシアター）が取り組む「共生社会づくり」は多彩なラインナップがありますが、2つに絞ってお話ししていただきます。1つには、兵庫県小野市で続けている、在留外国人と日本人をつなぐ演劇ワークショップ「にほんごであそぼう」です。もう1つは、聴覚や視覚に障害のある方に対する演劇作品の「鑑賞サポート」の試みです。

障害者文化芸術活動推進法が2018年に、障害者情報アクセス法が2022年に施行されました。これからの文化施設や文化団体の現場では、文化芸術をユニバーサルに届けることができるのか、どうしたら表現する権利を守れるのか、の課題に直面しており、本研究会を発案しました。プロの俳優2人を招くので、実際の技法を実演してもらうほか、参加者にも簡単なワークショップを体験していただきます。終了後に開く交流会では、飲み物やお菓子類を楽しみながら、多彩な方々と知り合うことが期待されます。

【日時と会場】

日時：2023年6月11日（日）午後2時～午後4時（受付開始 午後1時45分～）

※終了後に交流会を開催します。

場所：アカデミックスペース「本のある工場」（大阪市此花区西九条5丁目3番10号）

※最寄り駅：JR大阪環状線・阪神なんば線 西九条駅下車。徒歩7-8分

※階段で2階の会場に上がります。エレベーターはございません。

対象：文化施設・文化団体、文化の現場で活動するスタッフ、アートマネジャーを対象とします。

定員：30名（要事前申込、先着順）

参加費：1人1,000円（ドリンク・お菓子付、持ち込み歓迎）

【お申し込み】

『日本アートマネジメント学会』ホームページ (<http://ja-am.org/>) の専用フォームから受付。

※定員制なので満席が予想されます。キャンセルされる際は、必ずご連絡をお願いいたします。

※お問い合わせ：jaam1998.office@gmail.com

【日本アートマネジメント学会（AM 学会）とは】

文化芸術の経営・運営を研究する学術団体で、1998年に設立された。演劇・音楽・美術などのジャンルを超えて、研究者・運営者・実践者らが集う。23年12月に福岡県にて第25回全国大会を開く。

AM学会は、コロナ禍の以前、年に2度の行事を行ってきた。例年12月開催の全国大会と、5-7月に開かれていた講演会・文化施設視察などである。今回は久しぶりに対面による研究会が実現した。

【兵庫県立尼崎青少年創造劇場とは】

立地する尼崎市は、臨海工業地帯として知られ、かつては大きな工場がいくつも操業していた。労働者たちが演劇や音楽のサークル活動を展開。そこで兵庫県は1978年、県立尼崎青少年創造劇場（ピッコロシアター）を開館した。附属の演劇学校（1983年開校）、舞台芸術学校（1992年開校）を開いていることが特色で、1994年には日本で初めての県立劇団（35人／代表・岩松了）が誕生した。

劇団俳優には日本中から参集。ゲストの本田千恵子さんは東京都出身、菅原ゆうきさんは熊本県出身で、劇団員たちは出演にとどまらず、脚本、演出、衣裳や小道具制作、アウトリーチ活動なども担当。

ピッコロシアターは2022年度の「第2回日本アートマネジメント学会賞」を受賞した。これを記念して、劇団近くにある「本のある工場」まで駆け付けてくださることになった。

【本のある工場とは】

1969年（昭和44）に建てられた元印刷工場。築54年。長く使われていなかったが、若手建築家のデザインを得てリノベーションを行い、2022年5月、アカデミックスペースに生まれ変わった。



◆元印刷工場だった「本のある工場」の外観
(2023年2月撮影)



◆これまでの講座風景（2022年10月7日）（元工場の荷さばき場にて）